

### 第27回母乳育児シンポジウムに参加してきました

秋の気配が感じられるようになりました。皆様いかがお過ごしでしょうか。



8月4、5日に長崎において「第27回母乳育児シンポジウム」が開催され、当院からは助産師3名が出席しました。会場には500人を超える産婦人科医師や小児科医師、保健師、助産師、看護師、理学療法士等たくさんのコメディカルの参加がみられました。木幡副師長がシンポジウムⅡ「リスクを抱える母子への支援」の司会を務め、シンポジウムでは活発な意見交換がされ、会場は盛り上がりました。



今回参加しました保谷副師長からの感想を紹介させていただきます

「みんなを支える みんなで支える 赤ちゃんとおかあさんの持っている力をひきだそう」のテーマに相応しく、全ての母子に最良の母乳育児支援が行われるように、小児科医、産科医、助産師、保健師、保育士といった多職種がそれぞれの立場から現在の取り組みや今後の課題などを発表していました。近年母子を取り巻く社会的背景は多様化しているため、柔軟に対応できる支援と継続的な支援の必要性を改めて実感するとともに、当院での取り組みを振り返る機会となりました。今回、当院での取り組みをポスター展示しました。他施設から質問を受け、他施設との情報交換の場となりました。今回のシンポジウムでの学びを生かし、より良い母乳育児支援を目指していきたいと思います。

日本全国から多数の参加者が集まり、大変学びの多い2日間でした。これからも多職種との連携を更に深め「赤ちゃんにやさしい病院」として地域に広がるやさしい支援を行っていききたいと思います。

